

ふるさと財団「地域再生マネージャー」情報

1. 基本情報			
ふりがな	かんの たけし		
氏名	菅野 剛		
所属	株式会社TAISHI		
役職	代表取締役		
活動エリア	全国、北海道が多いです。		
連絡先	住所	〒 060-0061	札幌市中央区南1条西7丁目12-6 パークアベニュービル10F
	電話番号	011-221-0033	
	メールアドレス	kanno@taishi-hkd.jp	
キャッチコピー	温故知新、今に集注。最善を尽くす。		
自己PR	<p>地域振興の分野で、これまで培ってきたノウハウを活かし、時代の変化に即した「その地域ならではの未来づくり」を伴走しながら探求してまいります。</p> <p>私が最も大切にしているのは、地域の皆さまが、既存の地域資源の可能性を実感し、自信を持つことです。その自信こそが、新たな挑戦を生み出し、地域の持続的な発展へとつながると考えています。</p> <p>地域資源を活かした多様な事業を展開し、小さな成功を積み重ねること。そのプロセスを通じて、地域主体の事業推進力を育み、自立的な成長へと導くことが、私の目指すところです。</p>		
関連ホームページ	名称	アドレス	
	道の駅「ふるたたらこミュージアム」公式ホームページ・株式会社TAISHI指定管理者	https://www.furubira-tarakomuseum.com/	
	道の駅「うたしないなチロルの湯」Instagram・株式会社TAISHI指定管理者	https://www.instagram.com/utashinai.tirol/	
	道の駅「230ルスツ」Instagram・株式会社TAISHI指定管理者	https://www.instagram.com/sanroku_rusutsu/	
2. 略歴・受賞歴			
略歴・受賞歴	<p><経歴> 北海道札幌市出身 ◆1995年より5年間台湾在住。日系商社にて日本向け貿易業務から大広台湾ランチを経て、JTBグループの広告会社へ入社。帰国後、北海道にてJTBグループ広告会社勤務。 ◆2004年よりJTB北海道営業本部を経て、2006年4月の分社後、JTB北海道・市場開発室プロジェクトディレクターに就任。 ◆2011年10月より株式会社TAISHI代表取締役として、食と観光による地域活性化事業を推進。 ◆総務省 地域力創造アドバイザー（地域人材ネット登録）</p>		
3. 取組分野			
● 観光	（ 観光による経済振興策の策定及び運用支援、地域産品を活用した特産品開発・販売支援		
移住・定住・関係人口	（		
農林水産業	（		
● 起業支援	（ 経営戦略の構築支援、事業計画の策定・作成支援		
まちなか再生	（		
集落再生	（		
環境	（		
その他	（		
4. ふるさと財団での実績			
外部専門家（活用助成）	<p>◆2022～2024年度 北海道寿都町「観光不条件立地の新たな観光ビジネス戦略～寿の都から始める観光戦略推進事業」</p> <p>◆2016年度 岩手県八幡平市 「ICTを活用したウェブプロモーションによる観光地魅力訴求モデル構築事業」</p> <p>◆2012年度 北海道中標津市 「エリアラビング型・中標津町観光ブランド形成の可能性検討調査事業」</p> <p>◆2011年度 北海道名寄市 「農商工連携型観光クラスター形成による地域再生プロジェクト」</p>		



5. 取組内容・実績

取組内容・実績	<p>【取組事例①】</p> <p>(1)事業名 : 奥尻島観光戦略の推進 (2)対象地 : 北海道奥尻町 (3)事業目的 : 奥尻島の観光需要創出に向けた、観光戦略の策定と推進。 (4)事業内容 : 奥尻町が策定する総合計画とは違う位置づけとして、戦略を立案。達成目標を、「①宿泊施設基盤強化」「②観光消費の増加」「③観光DXの推進」「④起業家教育の導入とスタートアップの促進」「⑤人材確保の仕組みづくり」「⑥関係人口づくり」の6項目に絞り、実践する事にこだわった。</p> <p>(5)事業による成果 : 「宿泊施設の基盤強化」については、廃業を考える宿泊施設の実態把握調査の実施。公共工事関係者の宿泊需要が無くなる時期に廃業を考えている事業者が多い事から、新たな宿泊施設を呼び込む為の指標を整理。宿泊事業者誘致を支援。観光消費の増加については、旅行者が滞在中に使うお金だけでなく、日常生活での、「お取り寄せ」や「ふるさと納税」等の利用を促す仕組みを構築。島の名物料理を冷凍して届ける為の、「急速冷凍機」の購入し、販売展開をはじめることができた。</p>
	<p>【取組事例②】</p> <p>(1)事業名 : 北海道奥尻高等学校「町おこしワークショップ」支援 (2)対象地 : 北海道奥尻町 (3)事業目的 : 学生が企画立案のアドバイス。企画レベルで止まっており、実装化が課題であった取り組みを事業モデル化までを支援。 (4)事業内容 : 奥尻高等学校が推進する標記事業の、「地域創生・起業チーム」のメンターとして支援。企画の内容は、奥尻の特産品であるウコの廃棄物の殻を使った商品を開発した。その実装化に向けて、奥尻島観光協会の協力を得る事で、実証事業へとステップアップ。そこから、事業化を目指す。 (5)事業による成果 : 学生の企画づくりの支援において、起業から経営の実践等の具体的な内容について授業を通じて講義した。現在、実証事業へのステップアップに向けて、奥尻島観光協会等との調整を伴走支援。学生や奥尻高等学校と実証事業の実現に向けて企画を推進している。</p>
	<p>※上記以外の取組内容・実績</p>